

# 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 特種東海製紙株式会社

上場取引所 東

コード番号 3708 URL <https://www.tt-paper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 松田 裕司

問合せ先責任者 (役職名) 理事 財務・IR本部長 (氏名) 望月 浩生

TEL 03-5219-1816

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	64,908	2.9	1,612	15.4	4,713	48.6	3,649	0.9
2023年3月期第3四半期	63,104	5.5	1,397	58.5	3,171	32.9	3,680	20.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,473百万円 (89.0%) 2023年3月期第3四半期 2,366百万円 (47.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	308.10	306.99
2023年3月期第3四半期	307.37	306.27

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	131,723	81,890	56.9
2023年3月期	123,347	78,576	58.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 74,982百万円 2023年3月期 72,102百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		50.00		50.00	100.00
2024年3月期		50.00			
2024年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	7.0	3,000	82.8	6,000	47.8	4,000	3.2	334.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	13,300,000 株	2023年3月期	13,300,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,504,687 株	2023年3月期	1,405,700 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	11,844,245 株	2023年3月期3Q	11,975,423 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢等の地政学リスクや、インフレに伴う金融引き締めが続く中、景気は緩やかな減速が感じられました。先行きにつきましては、グローバルに目を向けますと引き続き景気減速が見込まれ、国内においては物価高による経済の下押し影響が懸念されるところです。当社グループの事業環境は、原燃料価格の高止まりや為替相場の円安基調等、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、生産合理化による既存製紙事業の基盤強化に努めるとともに、第6次中期経営計画（2023年度から2025年度の3ヶ年計画）のもと、「営業利益50億円、経常利益80億円、ROE7.0%」の中期経営目標の達成のため、合成繊維（アラミドペーパー）等の成長分野の拡販や、今後成長が見込まれる環境関連事業のリサイクルビジネスの更なる拡大に注力してまいりました。第1四半期においては、環境関連事業を主軸とした事業ポートフォリオの変革を目指して、トーエイホールディングス株式会社の株式を取得いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は64,908万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は1,612百万円（前年同期比15.4%増）、経常利益は4,713百万円（前年同期比48.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,649百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①産業素材事業

主力製品である段ボール原紙及びクラフト紙につきましては、日本東海インダストリアルペーパーサプライ株式会社を通じて販売しており、国内の物価高による買い控え等の影響により段ボール等包装材の需要全体が低調に推移したことで、販売数量は前年同期を下回りました。

利益面につきましては、台風の影響で赤松水力発電所の運転が停止した前年同期に対し、水力発電による売電事業が順調に推移したことで前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は32,095百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は824百万円（前年同期比61.6%増）となりました。

#### ②特殊素材事業

特殊印刷用紙につきましては、国内向けの需要減少が続いていますが、価格改定による販売単価の上昇と海外向けファンシーペーパーの販売増加により、売上は前年同期並みとなりました。特殊機能紙につきましては、国内外の需要は低調ながらも、若干回復傾向にあることに加えて、高耐熱性絶縁紙、環境配慮型製品の市場開拓に努めたことにより、売上は前年同期並みとなりました。

利益面につきましては、価格改定の浸透により当第3四半期に入って以降収益性は回復しつつあるものの、為替水準が引き続き円安基調にあることから輸入パルプの工場への払出単価が想定ほど下がらず、前年同期比で減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は15,279百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は139百万円（前年同期比80.1%減）となりました。

#### ③生活商品事業

ペーパータオルにつきましては、新型コロナウイルス分類変更以降の使用量減少による荷動きの悪化、ラミネート等の加工品につきましては、包装用途の継続的な需要低下により、それぞれ販売数量は前年同期を下回りましたが、価格改定の浸透によりいずれも前年同期比で増収となりました。また、トイレットペーパーにつきましても、価格改定が浸透したことにより前年同期比で増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は13,909百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は523百万円（前年同期は営業利益13百万円）となりました。

#### ④環境関連事業

自然環境活用分野につきましては、建設事業の完成高が前年同期を上回ったこと等により増収となりました。また、資源再活用分野につきましては、新たに連結子会社化したトーエイ株式会社が第2四半期から売上高に寄与したこと等により、大幅な増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は8,637百万円（前年同期比39.1%増）、営業利益は199百万円（前年同期比179.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、131,723百万円となり、前連結会計年度末に比べて8,376百万円の増加となりました。主な要因は、子会社の新規連結に伴う資産の増加によるものであります。

負債は、49,833百万円となり、前連結会計年度末に比べて5,062百万円の増加となりました。主な要因は、子会社の新規連結に伴う負債の増加によるものであります。

純資産は、81,890百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,314百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。自己資本比率は56.9%となり、前連結会計年度末に比べて1.6ポイント低下しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,298	10,982
受取手形、売掛金及び契約資産	26,698	28,596
商品及び製品	5,057	5,226
仕掛品	955	1,538
原材料及び貯蔵品	7,234	6,764
その他	1,253	1,666
貸倒引当金	△17	△28
流動資産合計	51,479	54,746
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,422	16,300
機械装置及び運搬具(純額)	27,593	27,444
土地	11,066	12,640
その他(純額)	2,026	2,708
有形固定資産合計	57,108	59,093
無形固定資産		
のれん	986	2,673
その他	285	257
無形固定資産合計	1,272	2,930
投資その他の資産		
投資有価証券	11,029	13,126
繰延税金資産	1,313	906
その他	1,184	960
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	13,486	14,952
固定資産合計	71,867	76,977
資産合計	123,347	131,723

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,068	9,989
短期借入金	10,065	10,212
1年内返済予定の長期借入金	3,904	4,845
1年内償還予定の社債	70	80
未払法人税等	447	342
賞与引当金	436	302
事業構造改善引当金	—	145
その他	6,602	7,409
流動負債合計	31,594	33,328
固定負債		
社債	280	252
長期借入金	10,088	13,164
繰延税金負債	446	490
役員退職慰労引当金	72	96
環境対策引当金	52	47
退職給付に係る負債	1,349	1,402
資産除去債務	596	647
その他	289	403
固定負債合計	13,176	16,505
負債合計	44,771	49,833
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,485	11,485
資本剰余金	5,502	5,503
利益剰余金	58,734	61,199
自己株式	△4,755	△5,088
株主資本合計	70,967	73,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,158	1,893
繰延ヘッジ損益	△0	0
退職給付に係る調整累計額	△23	△10
その他の包括利益累計額合計	1,135	1,883
新株予約権	129	144
非支配株主持分	6,344	6,763
純資産合計	78,576	81,890
負債純資産合計	123,347	131,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	63,104	64,908
売上原価	56,446	57,381
売上総利益	6,657	7,527
販売費及び一般管理費	5,260	5,915
営業利益	1,397	1,612
営業外収益		
受取利息	0	4
受取配当金	235	210
受取賃貸料	92	91
受取保険金	24	116
持分法による投資利益	1,415	2,618
その他	210	232
営業外収益合計	1,977	3,274
営業外費用		
支払利息	100	114
支払手数料	45	—
その他	57	58
営業外費用合計	203	173
経常利益	3,171	4,713
特別利益		
固定資産売却益	4	23
投資有価証券売却益	1,835	57
移転補償金	—	255
国庫補助金	—	129
特別利益合計	1,840	464
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	90	105
減損損失	57	105
災害による損失	44	—
設備復旧費用	—	281
関係会社株式評価損	—	45
事業構造改善費用	—	181
特別損失合計	192	719
税金等調整前四半期純利益	4,819	4,458
法人税、住民税及び事業税	960	696
法人税等調整額	123	37
法人税等合計	1,084	733
四半期純利益	3,735	3,725
非支配株主に帰属する四半期純利益	54	76
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,680	3,649



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,735	3,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,385	728
繰延ヘッジ損益	△0	0
退職給付に係る調整額	20	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	5
その他の包括利益合計	△1,368	747
四半期包括利益	2,366	4,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,314	4,397
非支配株主に係る四半期包括利益	52	75

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が337百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が5,088百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	産業素材 事業	特殊素材 事業	生活商品 事業	環境関連 事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への 売上高	30,928	14,596	13,045	4,534	63,104	—	63,104
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,650	819	148	1,677	4,296	△4,296	—
計	32,578	15,416	13,194	6,211	67,400	△4,296	63,104
セグメント利益	509	701	13	71	1,296	101	1,397

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用及びセグメント間取引消去等に係る調整額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	産業素材 事業	特殊素材 事業	生活商品 事業	環境関連 事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への 売上高	30,110	14,634	13,754	6,409	64,908	—	64,908
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,985	644	155	2,228	5,013	△5,013	—
計	32,095	15,279	13,909	8,637	69,922	△5,013	64,908
セグメント利益	824	139	523	199	1,686	△74	1,612

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用及びセグメント間取引消去等に係る調整額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。